

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	町会連合会助成費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木良一
		担当者名	小倉裕司	内線	2511
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	町会連合会助成費(07-16-14-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	60年度	根拠	荒川区町会連合会等に対する助成金交付要綱
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区町会連合会の活動に対する助成金交付要綱
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	町会連合会から協力を得ること並びに町会連合会が自主的に行う事業を支援することにより、地域住民の福祉の向上を図る。 町会連合会に対して、区が行う各種事務事業に伴う連絡・依頼事項等の意見を調整し、協力を得ることで単一町会への連絡・依頼等を円滑にする。 「町会長のつどい」については、区理事者と町会長が直接区政や事業について意見交換するとともに、町会長が一堂に集まる場を設け、町会長相互間の交流促進を図る。				
対象者等	荒川区町会連合会及び地区町会連合会（8団体） 計9団体の長				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成金の交付・荒川区町会連合会 @ 10,000 × (荒川区町会連合会+8町会連合会) (事務局：区民課) ・地区町会連合会（8団体） @ 6,500 × 各地域町会連合会に属する区内118町会 (事務局：各区民事務所等) 荒川区町会連合会の活動に関する助成として2,000千円を助成する。</li> <li>○町会連合会会議の開催 毎月5日（1月と8月を除く）を原則として定例会議を実施し、区が行う各種事務事業に伴う連絡・依頼事項等の意見を調整するとともに、地域における諸課題の検討や情報交換等を実施する。</li> <li>○町会長のつどい 区理事者と町会長が直接区政や事業について意見交換するとともに、町会長が一堂に集まる場を設け、町会長相互間の交流を実施する。なお、17年度までは区主催事業として実施していたが、18年度より町会連合会が主催し実施する。</li> </ul>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>○荒川区町会連合会の助成金の算出方法 ・昭和62年～平成11年度 @1,000円 × 町会数      ・平成12年～ @10,000円 × 地区町会連合会数</li> <li>○地区町会連合会の町会割額の単価の推移 ・昭和60年～昭和62年度 @5,000円 × 町会数      ・昭和63年～平成元年度 @6,000円 × 町会数 ・平成2年～平成11年度 @7,000円 × 町会数      ・平成12年～ @6,500円 × 町会数 ・平成18年度～ 2,000千円（活動助成）</li> </ul>				
必要性	町会連合会は、区と区民の橋渡し役として長年にわたり活動するとともに、区が実施する事業のみならず、消防、警察等行政活動全般において多大な協力をしており、その活動を支援する必要性は非常に高い。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	847	841	841	841	2,841	2,841	2,841	
決算額（20年度は見込み）	834	841	841	841	2,731	2,822	2,847	
人件費				2,586	2,562	3,416		
【事務分担量】（%）				30	30	40		
合計（+）	834	841	841	3,427	5,293	6,238	2,847	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	834	841	841	3,427	5,293	6,238	2,847	
実績の推移	事項名							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
区内町会数	116	117	117	117	117	118	118	
町会連合会数	8	8	8	8	8	8	8	
町会長のつどい参加数	85	81	102	78	88	74	88	
定例会議への付議依頼件数		98	103	112	109	110	120	

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交付金	荒川区町会連合会運営補助	80	荒川区町会連合会運営補助	80	荒川区町会連合会運営補助	80
	交付金	各地区町会連合会	761	各地区町会連合会	767	各地区町会連合会	767
	交付金	荒川区町会連合会活動補助	1,890	荒川区町会連合会活動補助	1,975	荒川区町会連合会活動補助	2,000

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	定例会議等の開催回数	10	11	10	10	10	
標	町会長のつどい参加率	66.7% <small>(78町会)</small>	63.2% <small>(74町会)</small>	62.7% <small>(74町会)</small>	74.6% <small>(88町会)</small>	100.0% <small>(118町会)</small>	参加町会数 / 全町会数（118） 19年度に117町会 118町会

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金全般 各地域町会連合会の特性や地域内単一町会の規模の違いがあり、単に町会数に単価を乗じた助成金の算出方法が適切であるか検討の必要がある。</li> <li>・町会長のつどい 「町会長のつどい」については、研修や情報交換及び施設見学等、事業の必要性は高いが、バスを利用して宿泊するので、公費を使った親睦旅行と見られる要因もあったため見直した。</li> </ul>
他区の実況	（実施 15 区                      未実施 7 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区や関係団体からの定例会議への付議件数が増加傾向にあるとともに主管で事業内容が精査されていないものが付議されるなど、一定のルールを定める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町会・自治会から依頼件数が多いとの批判が軽減できる。</li> <li>○スムーズな会議の開催が期待できる。</li> </ul>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	コミュニティ活動の中核として、行政活動全般について協力を得ており、優先度は高い。

議会議決要旨	
--------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	その他活動推進費（町会等）	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木良一
		担当者名	小倉裕司	内線	2511
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	その他活動推進費（07-32-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	57年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	1 町会長のつどい 区理事者と町会長が直接区政や事業について意見交換するとともに、町会長が一堂に集まる場を設け、町会長相互間の交流促進を図る。 2 町会連合会事務 区が行う各種事務事業の周知及び協力と、区と町会間の意見調整を図り、地域住民の福祉向上に資することを目的として組織された町会連合会に対して、会議運営等の事務補助を行う。				
対象者等	1 区内町会・自治会の代表者（町会長）      2 各地域の町会連合会長				
内容	1 町会長のつどい（宿泊研修） 19年10月に1泊2日で宿泊研修を行った ・10/18 研修（区政の現状と将来について）、懇親会 ・10/19 情報交換会・施設見学会（足尾銅山跡地） 2 町会連合会事務 ・町会連合会会議の開催（総会年1回、定例会年9回、1月、8月はなし） ・町会連合会長退任時の感謝状贈呈式の開催・町会連合会の懇親会の開催				
経過	1 町会長のつどい ・昭和57年度より「宿泊研修」開始。平成16年度からは「町会長感謝のつどい」を「町会長のつどい」に名称変更 ・平成18年度から、区主催であった「町会長のつどい」の実施主体を「荒川区町会連合会」に移行し、団体の自主性を尊重した弾力的で効率的な運営を行うこととした。 2 町会連合会事務 ・昭和60年度より助成金の交付が開始される。これに伴い、不定期だった会議が定例会となる。 ・平成9年6月19日「荒川区町会連合会会則」が制定され、役員の任期等を正式に定める。				
必要性	本事業により、区との意見交換や町会長相互の交流が促進されることから、優先度は高い。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	2,702	2,696	2,515	2,275	407	421	427	
決算額（20年度は見込み）	2,264	1,924	1,730	1,922	364	291	427	
人件費				8,619	1,708	854		
【事務分担量】（%）				20	20	10		
合計（+）	2,264	1,924	1,730	10,541	2,072	1,145	427	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,264	1,924	1,730	10,541	2,072	1,145	427	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	町会長のつどい参加者数	85	81	102	78	74	74	88
	開催場所	グリーンパール那須	グリーンパール那須	グリーンパール那須	グリーンパール那須	グリーンパール那須	グリーンパール那須	グリーンパール那須
	定例会議の開催数	10	10	10	10	11	10	
	代表世話人交代式の開催	1		1		1	1	

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
予 算 ・ 決 算 の 内 訳	職員旅費	従事職員旅費	170	従事職員旅費	91	従事職員旅費	161
	食糧費	つどい賄費	0	代表世話人交代式賄費	169	代表世話人交代式賄費	189
	需用費	代表世話人交代式賄費	189				
		つどい不参加者記念品	0	連町会長退任時額等	4	連町会長退任時額等	50
	役務費	連町会長退任時感謝状	7	連町会長退任時感謝状	20	連町会長退任時感謝状	14
	使用料	つどいバス借上げ	0	連町会長交代式会場使用料	6	連町会長交代式会場使用料	13
		つどい宿泊費	0				

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	定例会等の開催回数	10	11	10	10	10	定例会議のほか緊急性の高い課題があった場合の臨時会の回数
	町会長のつどい参加率	66.7% <small>(78町会)</small>	63.2% <small>(74町会)</small>	62.7% <small>(74町会)</small>	74.6% <small>(88町会)</small>	-	参加町会長数/全町会長数 19年度から117町会 118町会

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区との意見交換や町会長相互の交流が促進されることから、優先度は高い。

議 会 要 旨 問 状	
----------------------------	--



# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	食糧費					会場設営	525
	一般需用費					記念品	625
		記念品	580			その他	58
		その他	42			賞状印刷	122
		賞状印刷	97			筆耕料	84
	役務費	筆耕料	66			看板作製	53
	委託料	会場設営	552			会場使用料	81
	使用料	会場使用料	55				

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	表彰率	-	97.4%	-	100.0%	100.0%	表彰者 / 候補者数
標							長年地域活動を積極的に取り組んでいる役員を表彰することを目標とする

（問題点・課題分析）	6年度から10年度まで5年間実施したことにより、各町会で表彰基準を大幅に超えている役員の表彰は、ある程度終了した。実績の推移で示すように、受賞者の数が年々減少してきている。毎年開催では、小人数の事業となり、費用対効果が低くなる。このため、11年度は実施せず、12年度より隔年で実施している。
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容
	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	町会活動において他の模範となる者を表彰することにより、地域活動の振興につながり、優先度は高い。

議（要旨）	議（要旨）
-------	-------

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	地域コミュニティ活性化支援事業	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木良一
		担当者名	小倉裕司	内線	2511
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	地域コミュニティ活性化支援事業（07-34-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	19年度	根拠	
終期設定	有	無	22年度	法令等	
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	
			計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	<p>新規に転入してきた住民や町会・自治会未加入の住民に対し、町会等が行っている事業や活動を広く周知することにより、その活動等に興味・関心を持ち、以って町会等への加入や自治会設立を促進することを目的とする。</p> <p>また、町会等への加入促進策の一環として、町会未加入のマンション住民（管理組合）や転入者等に対し、区内体験・見学ツアーを実施し、「荒川区」というまちを知って、また「自分の住んでいる地域」に関心と愛着を持ってもらうことを目的とする。</p>				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会に加入していないマンション居住者</li> <li>・荒川区への転入者</li> </ul>				
内容	<p>1 マンション居住者等対策モデル事業 町会等への加入低迷の要因の1つにマンション居住者の増加があるため、都市整備部と連携し、8町会連合会のうち1つをモデル地区と位置づけ、既存の町会未加入のマンション管理組合等へ意向調査を実施し、区と町会連合会及び町会で懇談会を行う。 また、懇談会での意見交換の内容等を踏まえ、観光ボランティア（現在養成講座を観光振興課で実施中）による地域の名所や商店街の案内、さらに、区民レスキュー隊の訓練、資源回収など実際に活躍している町会の姿を視察（区民ツアー）し、町会の結成や加入に対する疑問や課題の解決に向け、実際に目で見て体験・見学する。</p> <p>2 地域コミュニティ活性化調査 コミュニティの活性化を推進するには、諸課題を把握したうえでその解決策を結びつけ、総合的な活性化策を推進することが効果的である。また、地域の抱える課題をより客観的に捉えるためには、地域研究を専門的に研究している研究機関との連携が有効である。このため、研究機関と連携し、「町会の活性化・加入促進」という課題に対して、情報収集・現状分析を行う。</p> <p>3 荒川区町会史編纂補助 区政75周年のあゆみとともに、区と両輪となって事業の一端を担ってきた「荒川区町会連合会」をはじめとする「町会・自治会」のあゆみ（町会史）を編纂するため、荒川区町会連合会にその費用を助成し、「2 地域コミュニティ活性化調査委託」にある「PR活動」に宣材、特に「町会とはなにか?」という新住民への説明資料等への活用を図る。</p>				
経過					
必要性	地域コミュニティを活性化するためには、町会未加入のマンション居住者への働きかけが必要不可欠であり、事業の必要性は高い。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>区内全マンション管理組合に対し、町会加入の現況や関心事をアンケートにより聴取。特に多かった関心事について参加者を募り、既存の町会長や既設マンション自治会長との懇話会を実施。関心事や懇話会で話し合ったことをもとに、施設や実際の町会活動を視察</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算額							1,867	11,867
決算額（20年度は見込み）							216	11,867
人件費							1,708	
【事務分担量】（%）							20	
合計（+）	0	0	0	0	0	0	1,924	11,867
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	0	0	1,924	11,867
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	懇話会出席団体						19	30
	区民ツアー参加者数						7	30





# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	区営掲示板維持管理費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木 良一
		担当者名	岩崎 孝子	内線	2512
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	区営掲示板維持管理費（07-44-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	48年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業課が作成したポスターを掲示し、事業内容を区民に周知する。</li> <li>掲示板を適所に設置し、その維持管理を図る。</li> </ul>				
対象者等	全区民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター掲示・・・掲示期間は原則として10日間                      掲示予約受付 掲示依頼書・ポスター提出 ポスター貼付                      （掲示開始日の半年前から） （掲示開始日の前日まで） （毎月5・15・25日シルバーに委託）</li> <li>掲示板維持補修・建替え                      毎年、全掲示板の腐食・破損状況を調査し、必要に応じて修繕を行い、町会等の要望により新設も行う。                      また鉄製からアルミ製へ概ね7～10ヵ年計画より建替えを行う。</li> </ul>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和48年度～ 109基で開始し、その後徐々に増設（平成2年度末199基）</li> <li>平成3年度～5年度 1町会2基の割合で増設（平成5年度末259基）</li> <li>平成6年度～9年度 0.03km<sup>2</sup>に1基の割合で増設（平成9年度末318基）</li> <li>平成10年度以降 上記増設計画完了のため、補修困難な物を年度内4基をめぐりに新規に建替え。</li> <li>平成19年度以降 破損状況が著しく補修困難な物を、年度内15基をめぐりに新規に建替え。</li> </ul> 現在303基 【材質別内訳】 鉄パイプ枠・合板ボード160基、アルミ枠・ゴムボード143基（ステンレス含む） 【地区別内訳】 南千住54基、荒川54基、町屋43基、東尾久44基、西尾久38基、東日暮里31基、西日暮里39基、				
必要性	区営掲示板にポスター等を掲示し、広く区民に情報を提供することは、コミュニティの活性化につながることから、必要性が高い。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ポスター掲示委託 シルバー人材センター 単価契約 1回 228.42円 @228.42×設置基数×3回/月×12月＝年額				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	4,576	4,509	4,214	3,905	4,166	7,381	7,422	
決算額（20年度は見込み）	4,203	3,241	4,106	3,407	3,618	6,134	7,422	
人件費				2,155	2,989	2,989	2,989	
【事務分担量】（%）				25	35	35	35	
合計（+）	4,203	3,241	4,106	5,562	6,607	9,123	10,411	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	4,203	3,241	4,106	5,562	6,607	9,123	10,411	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績の推移	新設	2	1	2	1	2	12	15
	撤去	2	1	2	3	1	27	14
	移設	3	0	1	3	2	1	0
	ボード交換	29	8	11	22	5	4	0
	ペンキ塗装	11	5	8	12	12	4	18
	設置基数（年度末）	319	319	319	317	318	303	304

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	需用費	修繕（ボード・ポール）	366	修繕（ボード・ポール）	109	修繕（ボード・ポール）	360
	委託料	ポスター掲示委託	2,489	ポスター掲示委託	2,462	ポスター掲示委託	2,541
		新設・撤去	763	新設・撤去	3,563	新設・撤去	4,521

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	鉄製からアルミ製掲示板への取替	39.4%	40.1%	47.2%	52%	61.8%	アルミ製掲示板数 / 全掲示板数

（問題点・課題）	アルミ製ゴムボードは修繕の必要性が低く、ポスター等の剥がれも少ないが、掲示板の総数が多いので、短期間での建替えは難しい。
他区の実況	（ 実施      22      区                      未実施                      区      ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
鉄製の掲示板よりアルミ製に建替える。	アルミ製ゴムボードは10年以上修繕の必要がなく、ポスターの張り替えもしやすいため、メンテナンスコストの削減につながる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	区の事業を広く区民に周知し、コミュニティの活性化を図る事業であり、継続して実施する。

議会議況（要旨）	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	住居表示事務費（台帳整備・街区表示）	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木 良一
		担当者名	岩崎 孝子	内線	2512
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	住居表示台帳整備（07-48-25-01） 街区表示板設置（07-48-50-01） 住居・街区表示一般事務費（07-48-75-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	38 年度	根拠	住居表示に関する法律（昭和37年施行）第3・8・9条 住居表示に関する条例	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	新築等の届出に対する住居表示の付定や街区表示板の貼付等を実施し、正確な住居表示制度を保つ。				
対象者等	全区民				
内容	<p>【住居表示台帳整備事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新築届」の受付 現地調査（委託）・住居表示付定図修正 住居番号を付定 届出者へ通知</li> </ul> <p>【街区表示板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各街区の角付近の建物等に街区表示板を貼付（通常1街区につき4箇所）</li> <li>・区内を7地区（南千住・荒川・町屋・東尾久・西尾久・東日暮里・西日暮里）に分け、1年に1地区ずつ、街区表示板の欠落箇所を調査し、貼付（シルバー人材センターに委託）</li> </ul> <p>【街区案内板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町丁名や街区番号等を表示した案内板を設置（65箇所）</li> <li>・街区案内板の腐食・破損に応じて修繕・建替えを実施</li> <li>・平成12年度より、手書き案内板からコンピュータ表示の案内板に変更。（コンピュータ表示はカラーで見やすく、周辺の公共施設の写真も表示できる。）</li> </ul>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居表示実施年月日 南千住：昭和42年5月1日、荒川：昭和43年3月1日、町屋：昭和38年6月1日 東・西尾久：昭和39年7月1日、東・西日暮里：昭和41年3月1日</li> <li>・現在の街区数 南千住308、荒川450、町屋231、東尾久324、西尾久300、東日暮里288、西日暮里280 計2,181</li> <li>*平成18年9月、南千住八丁目の街区変更実施（1～55番街区 1～18番街区）</li> <li>・街区表示板・通常1街区につき通常4箇所貼付しているため、区内全域で約8,800箇所貼付。平成2年度より、貼り替え時にローマ字表記併用のものを使用。</li> <li>・街区案内板・平成6年度新設分より、英語表記併用。平成18年9月、南千住8丁目新設分より、英語・ハングル・中国語併記</li> </ul>				
必要性	法に基づく事務であり、正確な住居表示を保つため必要性は高い				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>住居表示台帳修正業務委託 H20年～船津地図社、H19年～東京地図社@2,310円 H2委託開始（H16/3,990円、H17/2,940円、H18/2,310円）</p> <p>街区表示板欠落箇所調査 シルバー人材センター 単価契約 1街区 119円 街区表示板貼付 シルバー人材センター 単価契約 1枚409.5円</p>				

予算・決算額等の推移	14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度							
	予算額	3,037	3,197	3,028	3,584	9,016	3,106	3,272
決算額（20年度は見込み）	2,701	2,253	2,531	1,950	7,826	2,449	3,272	
人件費				8,472	9,752	5,551	5,551	
【事務分担量】（%）				120	125	65	65	
合計（+）	2,701	2,253	2,531	10,422	17,578	8,000	8,823	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,701	2,253	2,531	10,422	17,578	8,000	8,823	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	付定・変更件数	565	576	614	607	653	715	650
	住居表示証明願数			186	203	5,427	339	250
	街区表示板欠落調査地区	西尾久	荒川	南千住	-	町屋	東日暮里	西日暮里
	調査街区数	300	450	345	-	231	288	280
	街区表示板貼付地区	東尾久	西尾久	荒川	南千住	町屋	東日暮里	西日暮里
	貼付表示板数	241	456	508	274	236	345	337
	街区案内板総数	56	56	56	54	65	65	65
	新設	0	0	0	0	12	2	2
撤去	0	0	0	2	0	1	2	

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	委託料	住居表示台帳修正業務	843	住居表示台帳修正業	619	住居表示台帳修正業	981
	需用費	表示板等購入・案内板修繕	582	表示板等購入・案内板修繕	768	表示板等購入・案内板修繕	979
	委託料	表示板欠落調査/貼付・案内板清掃/新設	454	表示板欠落調査/貼付・案内板清掃/新設	1,051	表示板欠落調査/貼付・案内板清掃/新設	1,285
	時間外	南千住八丁目変更	972				
	需用費	南千住八丁目変更用消耗	492	住宅地図購入等	10	住宅地図購入等	27
	委託料	南8 案内板新設・住棟サイン修正	4,483				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題 指標分析）	
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	法に基づく事務であり、正確な住居表示を保つため、継続して実施する。

議会議況 （要旨）	
--------------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	グリーンパール那須管理運営費		部課名	区民生活部区民課	課長名	正木 良一
			担当者名	谷 之恵	内線	2514
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	グリーンパール那須利用者補助（09-64-33）、営繕費（09-64-66）、運営費（09-68-50）					
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業		それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	58年度	根拠		
終期設定	有	無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]				
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]				
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]				

**目的** 区民の健康増進と福祉の向上に寄与すること

**対象者等** 区内在住・在勤者とその家族（三親等以内）

**内容**

**施設概要**  
 （所在地） 栃木県那須郡那須町湯本 2 1 3  
 （施設規模） ・敷地面積 16,260.77㎡ ・建物面積3,923.02㎡（鉄筋コンクリート・地上2階地下1階）  
 ・部屋数 21室・定員 86名・付属施設 ゲートボール場（1面）、テニスコート（1面）、パターゴルフ（3コース）  
 （利用料金） H14.4.1料金改定 平日：大人A室7,600円、B室6,500円、C室5,400円（1泊2食付、消費税・サービス料金込み）  
 （利用手続き） 抽選対象区分 4/1～5/31、6/1～7/18、夏休み期間、9/1～10/31、11/1～12/25、年末年始、1/8～3/31分の7回。抽選後の空室は、電話・インターネットで予約可能。  
 （荒川区民の利用補助） 区内在住・在勤者と三親等以内の家族が利用した場合、区が一定額を補助することにより、貸付前と同程度の料金で利用することができる。  
 利用者は区民料金にて宿泊し、利用月の翌月にグリーンパール那須からの報告書に基づき、日本ビューホテル事業(株)に1か月分の補助額をまとめて支払う。

```

            graph LR
            A[区利用掲載募集] --> B[1～10日 区内施設でハガキを配付]
            B --> C[希望者は専用の往復ハガキ・インターネットで申し込む]
            C --> D[15日前後 施設抽選予約]
            D --> E[落選 通知発送]
            E --> F[空室優先予約]
            F --> G[落選者]
            G --> H[随時受付]
            H --> I[電話・インターネット]
            I --> J[一般空室予約]
            J --> K[利用日の15日前まで 申請書発行]
            K --> L[料金地にて支払]
            C -.-> D
            E -.-> D
            I -.-> K
            M[当選・通知発送 / ホームページから確認] -.-> D
            N[区民課又は区民事務所] -.-> K
            
```

## 事務事業分析シート（平成20年度）

経過	<p>区立那須高原荘（愛称名「グリーンパール那須」）として昭和58年4月開設。平成14年度から無償貸与方式により運営。平成17年6月には40万人目の利用者を迎えている。</p> <p>（用途廃止及び無償貸付の経過）</p> <p>開設当初より民間のホテル業者に業務委託していたが、施設の心臓部分ともいえる機械室や厨房機器などの経年劣化により、修繕等の回数が増加。区民利用施設等のあり方検討委員会において、利用率の向上策や抜本的なコスト削減などを検討した結果、平成14年度に用途を廃止し普通財産化。今までどおりにホテル・旅館業として運営することを条件に、民間事業者は無償で貸与した。施設運営経験が豊富な民間事業者に貸与することで、区民サービスの向上を図った。また、21部屋の内、15室（7割）を区民優先利用枠として、今までとほぼ同じ料金で利用できることとした。</p> <p>貸与先：日本ビューホテル事業(株) 5年契約（H14.4.1～H19.3.31） 自治体と関係のある業者からの提案方式により選定。運営状況等が良好なため5年間更新（H19.4.1～H24.3.31）</p> <p>（利用回復に向けた取り組み）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成11年4月 平日に実施していた会場抽選会をハガキによる抽選に切り替え。</li> <li>平成11年11月 直通バスの運行業者を変更。バスの小型化、料金を改定し、毎日運行を実現。</li> <li>区報・ほっとタウンへの掲載、区営掲示板・コミュニティバスさくらへの手づくりポスターの掲示など、あらゆる広報媒体を利用した積極的なPRを実施中。</li> <li>空室募集時に3泊以上や1人での宿泊利用を認め、15名以上の団体による平日利用を6カ月前より受け付ける。</li> <li>利用客の少なくなる月（年3回程度）にホテル主催のツアー実施。</li> <li>平成13年1月4日 条例改正により冬期割引料金を設定。</li> </ol> <p>（抽選方法の変更）</p> <p>平成11年度 会場抽選会からはがき抽選に変更。指定日に来庁する必要が無くなる。</p> <p>平成14年度 施設予約システムの導入により、インターネットからも抽選申込可能となる。</p>
必要性	<p>区民利用の減少や社会経済状況の変化を踏まえると、本事業の抜本的検討が必要であるが、一定量の区民ニーズがあること、施設の耐久年数等を勘案し、当面は現状の方法で継続する必要性がある。</p>
実施方法	<p>（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>13年度まで 委託料総額 ￥159,075,901 - 13年度決算額</p> <p>・運営業務委託 日本ビューホテル事業（株） &lt;内訳&gt; ￥108,946,618 - （人件費等総価契約分）</p> <p>・現地職員体制 委託業者27名、区職員2名 ￥50,129,283 - （賄材料費、洗濯費、消耗品費等、単価契約分）</p> <p>14年度より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用途廃止、普通財産へ 民間事業者は無償貸付</li> <li>15室を区民優先利用枠とし、一般利用料から一定額を割引いた区民利用料金で宿泊。</li> <li>割引いた額は、区の負担とし、区が事業者を支払う。</li> <li>区負担経費 区民割引の負担額、温泉使用権の更新料、大規模修繕費等（区が認めたもの）、利用受付のための需用費、リニューアルのための工事費。</li> <li>事業者負担 区が負担する以外の管理・運営に要する全ての経費。</li> </ul>

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
		予算額	125,251	70,192	56,150	51,040	42,765	41,366
	決算額（20年度は見込み）	118,423	68,321	44,395	40,933	40,239	36,845	41,347
	人件費				8,371	10,450	12,321	
	【事務分担当量】（%）				155	180	180	
	合計（+）	118,423	68,321	44,395	49,304	50,689	49,166	41,347
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）		39		182	785	1,620	
	一般財源	118,423	68,282	44,395	49,122	49,904	47,546	41,347
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	部屋稼働率	66.0	67.1	70.0	74.2	78.2	77.3	
	利用総人数	13,941	15,024	15,273	16,279	16,837	16,738	
	区民優先利用率	85.9	70.4	65.5	63.6	67.0	63.4	
	区民利用人数	13,039	11,340	10,456	10,032	10,076	9,779	
	利用者1人当たりの区負担額（一般財源÷区民利用人数） 区民課担当職員分の人件費は除く	9,080 リニューアル工事、温泉更新除くと 3,268	6,025 工事請負費、温泉更新除くと 3,391	4,246 工事請負費を除くと 3,322	4,063 工事請負費を除くと 3,339	3,916 工事請負費を除くと 3,530	3,602 工事請負費を除くと 3,357	
	一般利用人数	902	3,684	4,817	6,247	6,761	6,959	
大規模な工事があると、1人当たりの区負担額が増となり、今後は毎年、増えていくと想定される	リニューアル工事あり 温泉権更新	大規模工事あり 温泉権更新		大規模工事あり	大規模工事あり	大規模工事あり	大規模工事あり	



# 事務事業分析シート（平成20年度）



# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	委託保養所運営費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木 良一
		担当者名	谷 之恵	内線	2514
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	客室借上料（09-72-33）、その他運営費（09-72-66）				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	56年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	区民の健康増進と福祉の向上に寄与すること				
対象者等	区内在住・在勤者とその家族（三親等以内）				
内容	<p><b>施設概要</b>                  （所在地） 静岡県熱海市熱海1993-250 本館                  （施設規模） 敷地総面積約2.5万坪 17階建て 250室 総定員900名                  附帯施設には、ハーブガーデンやビーチリゾート施設、パターゴルフ場、室内プールのほか、海を囲ったオーシャンプール、錦が浦庭園散策道路などがある。</p> <p>（借上室仕様） 10畳和室（定員5名）バス・トイレ付                  （借上室数） 通年6室（18年度より 年間の指定土曜日23回は8室）                  （利用手続） 抽選区分 4/1～5/31、6/1～7/18、夏休み期間、9/1～10/31、11/1～12/25、年末年始、1/8～3/31日分の7回。抽選後の空室は、電話・インターネットで予約できる。</p>				
	<pre>                 graph LR                 A[区利用掲載集] --&gt; B[1～10日 区内施設でハガキを配付]                 B --&gt; C[希望者は専用の往復ハガキ・インターネットで申し込む]                 C --&gt; D[15日前後 施設抽選予約]                 D --&gt; E[落選後 通知発送]                 E --&gt; F[空室優先予約]                 F --&gt; G[落選者]                 G --&gt; H[随時受付 ネット]                 H --&gt; I[電話一般空室予約]                 I --&gt; J[利用日の15日前まで 書利用申請受付]                 J --&gt; K[料現金地に払って]                 L[当選・通知発送/ホームページから確認] --&gt; D                 M[区民課又は区民事務所] --&gt; J                 </pre>				
経過	東京から比較的近距离で温暖な地に区民保養所が欲しいという区民からの強い要望により、昭和56年から民間施設の一部を通年で借り上げている。これまで、湯河原「観光荘」、箱根「和泉」、箱根「萬翠楼福住」、箱根「金湯苑」、箱根「箱根小涌園」を借り上げて、多くの区民に低料金で提供している。平成11年度から熱海温泉「ホテルニューアカオ」に変更した。 （抽選方法の変更） 平成11年度 会場抽選会からはがき抽選に変更。指定日に来庁する必要がなくなる。 平成14年度 施設予約システムの導入により、インターネットからも抽選申込可能となる。				
必要性	社会経済状況の変化や区民ニーズの多様化等を踏まえると、保養所のあり方について検討する必要があるが、利用率が高いことを勘案し、当面、現状の方法で継続する必要性がある。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 民間ホテルの客室を一部借上げ 借上料金（税込） 13年度 ¥21,850,000 -、14・15・16年度 ¥20,850,000 -、17年度 ¥20,070,000 -、18年度 ¥19,486,740 -、19年度 ¥19,101,840				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	21,169	21,099	21,065	20,265	19,682	19,385	19,213	
決算額（20年度は見込み）	21,165	21,044	20,926	20,208	19,532	19,176	19,213	
人件費				7,032	6,984	8,539		
【事務分担当】（%）				125	125	125		
合計（+）	21,165	21,044	20,926	27,240	26,516	27,715	19,213	
その他（特定財源）								
一般財源	21,165	21,044	20,926	27,240	26,516	27,715	19,213	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	部屋稼働率（%）	95.0	87.4	82.7	82.2	75.0	80.1	
	利用総人数（人）	7,031	6,375	6,036	5,978	5,296	5,526	
	利用者一人当たりの区負担額（円）（決算額÷利用人数）	3,011	3,301	3,467	3,380	3,688	3,470	

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
	主な事項		主な事項		主な事項	
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
一般需用費	印刷製本費 抽選用ハガキ・利用申請書等消耗品費 案内用チラシ等用紙	46	印刷製本費 抽選用ハガキ・利用申請書等消耗品費 案内用チラシ等用紙	75	印刷製本費 抽選用ハガキ・利用申請書等消耗品費 案内用チラシ等用紙	128
使用料及び賃借料	委託保養所 ホテルニューアカオ 客室借上料	19,487	委託保養所 ホテルニューアカオ 客室借上料	19,102	委託保養所 ホテルニューアカオ 客室借上料	19,085

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値（22年度）	
	部屋稼働率	82.2	75.0	80.1	-	-	

（問題点・課題）	<p>1 従来8割を超える部屋稼働率であったものが、平成18年度は75%と低下したため、PR活動等を積極的に行った結果、19年度は再び8割を超える稼働率となった。</p> <p>2 平成14年度より施設予約システムを導入したが、抽選はがきのデータ入力作業にかなりの時間を要し、今まで以上に抽選作業に時間がかかってしまう。</p> <p>3 無断でキャンセルをしたり、直前でキャンセルするなどモラルの低下による問題が生じてきている。</p>
他区の実況	（実施 12 区                      未実施 10 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
前年度に引き続き、委託保養所の内容や利用方法等について、区報でのPRを行う。	稼働率の維持・向上。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	社会経済状況の変化等を踏まえると、必要性の抜本的検討が必要であるが、区民ニーズ等を勘案し、当面は現状の方法を継続し実施する必要性がある。

議会議況（要旨）	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	区民施設建設費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木良一
		担当者名	平間桜子	内線	2513
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	ふれあい館整備事業費（10-85-20-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	14年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	地域コミュニティ拠点施設としてのふれあい館を整備することにより、乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民の相互交流と地域活動を促進し、心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図る。				
対象者等	乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者に至るまであらゆる年齢層すべての区民				
内容	<p>[ふれあい館全体計画]</p> <p>半径500mの円内に1館程度設置する。平成20年4月には当初計画の19館を見直し、20館とすると共に新たな機能（消防団施設、非常時の備蓄スペース）を付加するなどのニュープランを策定した。整備後は施設の管理運営を指定管理者に代行させる。ふれあい館の整備に伴い近隣のひろば館は原則廃止する。</p> <p>ふれあい館における事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民がふれあいと相互交流を広げる事業（サロンスペース事業、プレイルーム事業、ふれあい館まつり、文化祭など）</li> <li>・区民の自主活動の促進のための場の提供（貸室事業）</li> <li>・文化、スポーツ、健康づくりなど地域コミュニティの形成を図るための事業（各種教室、講座、幼児タイムなど）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）南千住区民事務所 19～21年度工事、22年度開設予定</li> <li>・（仮称）南千住西口再開発施設内ふれあい館 19～21年度工事、22年度開設予定</li> <li>・（仮称）荒川三丁目ふれあい館 19・20年度設計、21・22年度工事、23年度開設予定</li> <li>・（仮称）町屋ふれあい館 20・21年度設計、22年度工事、24年度開設予定</li> <li>・（仮称）尾久ふれあい館 20・21年度設計、22年度工事、24年度開設予定</li> </ul>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年3月 ふれあい館（新たな区民ひろば）整備計画策定</li> <li>・平成16年10月 荒木田・西尾久ふれあい館開設</li> <li>・平成17年4月 東日暮里・汐入ふれあい館開設</li> <li>・平成18年2月 荒川山吹ふれあい館開設</li> <li>・平成19年8月 （仮称）南千住区民事務所、（仮称）南千住西口再開発施設内ふれあい館建設着工</li> <li>・平成20年4月 西日暮里ふれあい館開設</li> <li>・平成20年4月 ふれあい館整備ニュープラン策定</li> </ul>				
必要性	地域の活動拠点の中心的施設であり、必要性は高い。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施設整備後は指定管理者にふれあい館の管理運営を代行させることにより、サービスの向上と運営の効率化を図る。（参考：20年度指定管理料 6館合計 262,981,208円）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	19,000	340,011	896,027	232,427	165,902	789,459	40,386	
決算額（20年度は見込み）	18,480	336,527	892,413	228,348	164,446	768,811	40,386	
人件費				11,636	7,259	13,237		
【事務分担量】（%）				135%	75%	155%		
合計（+）	18,480	336,527	892,413	239,984	171,705	782,048	40,386	
国（特定財源）								
都（特定財源）		6,688	30,519	500	3,415	173,027	6,377	
その他（特定財源）		200,000	479,000	184,000	156,000	555,000		
一般財源	18,480	129,839	382,894	55,484	12,290	54,021	34,009	
実績の推移	事項名							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
ふれあい館開設数			2	3			1	
ふれあい館累計			2	5	5	5	6	

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	職員旅費	製品検査	7	製品検査	41		
	一般需用費	製函用品・印刷（西日）	116	初度調弁・製函（西日）	6,093		
	委託料	設計（耐震含）（町屋）	6,143	設計委託（尾久・荒三）	17,787	設計（荒三）・測量等（町屋・尾久）	40,386
	工事請負費	本体工事等（西日）	158,000	本体工事等（西日）	249,967		
	公有財産購入費	権利変換（南七）		権利変換（南七・荒三）	487,949		
	備品購入費			初度調弁（西日）	6,974		
	役務費	建設用地草刈	181				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	ふれあい館整備率	25.0%	25.0%	25.0%	30.0%	40.0%	整備箇所数 / 計画数(20館 ) 20年度から(19 20館 ニュープランによる)

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南千住東西区民事務所廃止後の用地及び施設の取り扱いについては、地域の状況を見極めながら検討する必要がある。</li> <li>・ふれあい館整備ニュープランに添ってふれあい館を整備していく。</li> </ul>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
南千住東西区民事務所廃止後の用地及び施設の取扱いについては、南千住再開発ビル内の新しい区民事務所の平成22年度開設予定を目的に、引き続き地域の状況等を踏まえて検討していく。	区民事務所の統廃合をスムーズに行い、区民に利便性の良い駅前に新しい施設を設置することができる。
消防団の分団本部施設の設置やミニ備蓄倉庫等を設置し、新たな機能の付加をするほか、単独整備以外の手法として、区他の施設との合築・転用、再開発建築物の区分所有等を検討していく。	区民ニーズに合ったふれあい館の建設ができ、ふれあい館整備率を高めることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	地域活動拠点の中心的施設のため優先度は高い。

議会質問状況（要旨）	<p>H19一定 ふれあい館構想の進捗状況について</p> <p>H19一定 仮称「荒川三丁目ふれあい館」等への青少年育成の居場所づくりについて</p>
------------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	公共施設サイン設置事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	石澤宏
		担当者名	奥田徹	内線	2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	公共施設サイン設置事業費（07-80-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	62 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	荒川区内の通路は複雑に入り組んだところが多く、目印となるものが必要である。公共施設の所在、順路、内容等を表示したサイン類を適宜区内に設置することにより、区外からの訪問者及び区民にわかりやすく暮らしやすい街づくりを進めることを目的とする。				
対象者等	区民及び区外からの訪問者				
内容	<p>区内の主要な駅前、交差点などに公共施設の所在、順路、内容を表示したサイン類を適宜設置。英文標記あり。</p> <p>【総合案内板】 （設置数） 3基 （設置場所） 駅前 （表示範囲） 区全域 （表示施設） 公共施設、学校、幼稚園、保育園、児童公園、鉄道、主要道路等</p> <p>【地区案内板】 （設置数） 7基 （設置場所） 駅前、公園等 （表示範囲） 1.5キロ四方 （表示施設） 公共施設、学校、幼稚園、保育園、児童公園、鉄道、主要道路等</p> <p>【誘導表示板】 （設置数） 24基 （設置場所） ルート上の主要な曲がり角 （表示施設） 公共施設名称と矢印、施設までの距離</p>				
経過	<p>昭和62年度より設置事業を開始し、主要幹線道路や、駅前にはほぼ設置済みである。現在サインの設置事業は休止し、メンテナンス及び修繕を行っている。平成9年度からシルバー人材センターに清掃を委託。過去3年間の板面修繕は下記のとおり。</p> <p>H17年度・・・誘導表示板10基の表示面修正 H18年度・・・誘導表示板6基の表示面修正、ハンゲル・中国語訳挿入 H19年度・・・地区案内板3基の表示面修正</p>				
必要性	現状の表記と実際が異なっているものを随時加除修正しつつ、正しい内容に整備する必要がある。				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>平成19年度実績 サインの清掃（1回）、地区案内板修繕（3基）</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	154	517	296	292	292	292	2,812	
決算額（20年度は見込み）	128	311	231	270	227	706	2,812	
人件費				1,724	1,332	1,025		
【事務分担量】（%）				20	30	12		
合計（+）	128	311	231	1,994	1,559	1,731	2,812	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	128	311	231	1,994	1,559	1,731	2,812	
実績の推移	事項名							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
サイン清掃委託費	128	117	112	112	101	94		
サイン修繕委託費		194	120	158	126	301		

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	手数料	サイン清掃委託費	117	サイン清掃委託費	94	サイン清掃委託費	117
	調査委託			案内板修繕、プレート設置	311	サイン設置状況調査	2,520
	その他委託	誘導案内板修繕委託	175	誘導案内板修繕委託	301	誘導案内板修繕委託	175

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	総合案内板改修率（％）	25	25	33		100	案内面修正等の終了箇所割合
	地区案内板改修率（％）	13	13	57		100	案内面修正等の終了箇所割合
	誘導案内板改修率（％）	75	100	100		100	案内面修正等の終了箇所割合

（問題点・課題）	<p>区内には、サインのほか、街区案内板や震災避難場所案内板、観光の案内版など同じ場所に設置されている所もある。設置から20年が経過し、老朽化に伴い、景観とマッチしない、イメージアップにつながらない面がある。一方、全面的にリニューアルするためには多額の経費がかかる。</p>
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
実態を把握し、他の案内板の所管部署と調整し、場合によっては統合・整理する必要がある。	内容が重複する案内板を整理することができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	類似業務を行う他課との調整も含め見直しが必要

議（要質問状）	所管をこえて、歴史的背景等も含めた案内板表示をすることについて（12年予特）
---------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

<b>事務事業名</b>	町会・自治会助成費	<b>部課名</b>	区民生活部 地域振興課	<b>課長名</b>	大関 英広		
		<b>担当者名</b>	中田 孝	<b>内線</b>	2531		
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）</b>	町会・自治会助成費(07-16-10-01)						
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業			
<b>開始年度</b>	昭和 平成	42 年度	<b>根拠法令等</b>	荒川区町会に対する事務事業助成金交付要綱			
<b>終期設定</b>	有 無	年度					
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画		
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	文化創造都市[ ]					
	<b>政策</b>	活気ある地域コミュニティの形成[10]					
	<b>施策</b>	コミュニティ活性化の推進[10-01]					
<b>目的</b>	区の各種事業の周知及び実施について、町会の協力を得ることができる。また、町会が自主的に行う事業を支援することにより、地域住民の福祉の向上を図ることができる。						
<b>対象者等</b>	単一町会ごとに助成する。各地区の町会数・世帯数は下表のとおり。						
	<b>地区</b>	<b>18年度</b>		<b>19年度</b>		<b>20年度</b>	
		町会数	世帯数	町会数	世帯数	町会数	世帯数
	南千住	15	16,401	15	17,351	15	18,278
	荒川	30	16,956	30	17,420	30	17,869
	町屋	17	11,101	17	11,258	17	11,335
	尾久	40	29,691	41	29,889	41	30,357
	日暮里	15	20,770	15	21,240	15	21,856
	計	117	94,919	118	97,158	118	99,695
<b>内容</b>	<b>助成金交付基準</b>			<b>助成金交付方法</b>			
	基礎額（1町会あたり）			各町会から区へ助成金交付申請書を提出 区は審査後、交付決定通知を町会に通知 町会は区へ助成金交付請求書を提出 助成金を交付			
		世帯数	金額				
		1,000世帯未満	25,000円				
		1,000世帯以上2,000世帯未満	30,000円				
		2,000世帯以上	35,000円				
	世帯割額単価 360円 *毎年4月1日の世帯数から算出(外国人を含む)						
<b>経過</b>	平成6年4月 世帯割額の単価を変更（330円 360円） 平成9年6月 基礎額を世帯数規模別に3段階に設定（従来は一律25,000円） 助成金の交付要綱は、平成7年度まで単年度要綱						
<b>必要性</b>	区事業の周知、実施について、町会・自治会の協力は不可欠である。 地域コミュニティの担い手として、町会・自治会は中心的・不可欠の存在である。						
<b>実施方法</b>	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )						

<b>予算・決算額等の推移</b>	（単位：千円）							
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	予算額	35,173	36,854	36,097	36,833	37,913	38,356	39,100
	決算額（20年度は見込み）	34,834	35,456	36,097	36,796	37,300	38,142	39,070
	人件費				30,080	27,243	22,010	
	【事務分担量】（%）				349	319	315	
	合計（+）	34,834	35,456	36,097	66,876	64,543	60,152	39,070
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	34,834	35,456	36,097	66,876	64,543	60,152	39,070	
<b>実績の推移</b>	<b>事項名</b>	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	助成金交付町会数	116	117	117	117	117	118	119 (1増見込)

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金	助成金交付	37,300	助成金交付	38,362	助成金交付	39,100

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
標	町会加入率	60.8%	60.3%	61.4%	61.5%	62.0%	加入世帯数 / 区内世帯数

（問題点・課題）	<p>行政サービスを実施していく上で、町会を受け皿として情報提供や協力依頼などを行うことも多く、町会未加入者への情報提供等をどうカバーするかが課題である。</p> <p>地域のコミュニティ形成が多様化（地域協議会・地域ネットワーク等）する中で、町会・自治会が担う役割は重要である。しかし、町会が中心となり地域全体で取り組む必要がある、防犯・防災活動や環境問題等の諸活動において、地域住民の協力が十分とはいえない現状がある。</p>
他区の実況	（実施 18 区                      未実施 4 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
地域の安全対策や環境美化運動など諸活動の実施や、行政と住民のパイプ役など、町会・自治会は地域で生活していく上で重要な役割をなしている。町会活動を積極的にPRし、加入の促進に努める。	より多くの地域住民に対し、行政サービスの向上が図れる。
地域コミュニティの核としての町会・自治会に対し、行政としてできるバックアップをする。	町会・自治会の財政力・組織力が向上する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	コミュニティ活動の中核として、町会・自治会から行政活動全般について協力を得ており、優先度は極めて高い。

況議（要旨）	
--------	--





# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
負担金	町屋東栄町会・新築		5,000	二ノ坪町会・会館購入	2,439	町会助成	21,662
負担金	荒川宮地町会・新築		3,000	荒川一丁目日本町会・新築	3,000		
負担金	東日暮里四丁目町会・修繕		3,000	町屋一丁目南町会・修繕	648		
負担金				東日暮里三丁目日本町会・修繕等	661		
負担金				西日暮里北部町会・修繕	1,260		
負担金				西日暮里北部町会・修繕	1,740		
負担金				西日暮里五丁目町会・冷暖房	300		
負担金				西日暮里五丁目町会・福祉設備	252		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
標	要望に対する区の対応	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	町会要望に対し、確実に対応できるように実施していく。

（問題点・課題）	<p>1 地域振興の中心となる町会会館は、広い範囲での利用があり、住民にとって重要な施設である。しかし、その建設には高額な費用がかかり、一町会の負担は非常に大きいのが現状である。建設費に対する助成は、限度額が昭和63年度から300万円であり、高騰した諸経費を考えると、全体の経費に対する助成率は減少している。また、葬祭場の不足から、町会会館の利用を望む声が多くなっているが、現状では葬祭場としての利用ができる会館の数は少なく、地域のばらつきもあり、対策が必要と考えられる。</p> <p>2 助成にあたっては、予算要求前に全町会に次年度の計画について意向調査を実施しているが、修繕については突発的に発生するため、把握ができないことが多い。</p>
他区の実況	（実施 15 区                      未実施 7 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	コミュニティの中核である町会活動の拠点となる町会事務所の建設を促進する事業であり、優先度が高い。

議会議事録（要旨）	
-----------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	町会法人化助成費	部課名	区民生活部 地域振興課	課長名	大関 英広
		担当者名	中田 孝	内線	2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	町会法人化助成費(03-04-03)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	3 年度	根拠	地方自治法260条の2(地縁による団体)	
終期設定	有 無	年度	法令等	地縁による団体の認可及び登記手続経費助成要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	町会・自治会等の地縁による団体が、区長の認可を得て、法人格を取得することにより、町会自治会名義で不動産登記ができ、保有財産をめぐるトラブルを防止し、地縁による団体の活動を円滑にすることを目的とする。 認可後の登記手続等に必要な経費の一部を助成する。				
対象者等	地縁による団体として認可された、町会・自治会等の団体の長				
内容	<p>1 助成の対象となる不動産 直接町会活動のために使用する町会事務所及びその事務所が建っている土地。 ただし、店舗又は貸室など収益事業に供する建物部分は対象としない。</p> <p>2 対象経費 ・ 認可申請に係る総会開催費 ・ 登録免許税相当額 ・ 登記に係る書類作成経費 ・ その他区長が認めたもの</p> <p>3 助成金額 45万円を限度に対象経費の50%</p> <p>4 助成手続 団体の代表者が、規約・名簿・保有財産目録等を添えて区へ申請書を提出する。 区は地方自治法及び要綱に基づき内容を審査し適否を判断し、区長名で認可する。 申請に基づき、印鑑証明・記載事項証明等を発行する。 団体は、登記終了後に名義変更の手続に係る経費に対する、助成金の交付申請をする。 区は、助成申請の内容を審査し、助成金を交付する。</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治法の改正（平成3年4月2日）により町会及び自治会が資産の登記名義人等の権利能力を有することができるようになった。</li> <li>区長は認可した町会に対して、申請があれば、印鑑登録証明書（平成5年10月1日公布）告示内容記載事項証明書（平成3年12月26日制定）を区が発行する。</li> <li>町会の名義変更に必要な経費について、区が一部を助成する（平成6年3月1日制定）</li> </ul>				
必要性	法の趣旨の観点から、町会・自治会の法人化を促進するために必要である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	1,000	800	723	1,007	875	1,105	1,242	
決算額（20年度は見込み）	454	575	723	471	381	729	1,242	
人件費				862	854	854		
【事務分担量】（%）				10	10	10		
合計（+）	454	575	723	1,333	1,235	1,583	1,242	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	454	575	723	1,333	1,235	1,583	1,242	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	法人認可町会数	4	3	4	2	3	3	6
	法人認可町会累計数	7	10	14	16	19	22	28
	法人化助成累計件数	36	40	43	45	47	50	56
（見込）								

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金	峡田睦会	204	二ノ坪町会	90	助成町会未定	1,242
	負担金	荒川宮地町会	73	荒川一丁目本町会	450		
	負担金	町屋東栄町会	104	町屋一丁目本町会	189		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
標	町会・自治会の法人化数	47	51	51	57	83	町会会館を所有する町会は83町会
	町会・自治会の法人化率	56.6%	61.4%	61.4%	68.7%	100.0%	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会館を既に有している町会では、名義変更等の必要が生じた時点で法人化を検討するため、対象町会の予測が困難である（毎年調査をおこない、町会の意向を確認しているが、現実として予測は難しい）</li> <li>・ 経費についても、会館の建物及び土地の規模により評価額が違ってくるので、予測が困難である。</li> </ul>
他区の実況	（ 実施 3 区                      未実施 19 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
財産（町会会館）を所有している町会・自治会へ法人格を取得するよう呼び掛ける	事業の早期終了が可能となる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	保有財産のトラブルを防止し、地縁による団体の活動を円滑にすることを目的としており、優先度が高い。

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

<b>事務事業名</b>	地域活動促進費	<b>部課名</b>	区民生活部 地域振興課	<b>課長名</b>	大関 英広																													
		<b>担当者名</b>	中田 孝	<b>内線</b>	2531																													
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）</b>	地域活動促進費(07-28-10-01)																																	
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業																														
<b>開始年度</b>	昭和 平成	2 年度	<b>根拠法令等</b>	地域振興事業補助金交付要綱																														
<b>終期設定</b>	有 無	年度																																
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画																													
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	文化創造都市[ ]																																
	<b>政策</b>	活気ある地域コミュニティの形成[10]																																
	<b>施策</b>	コミュニティ活性化の推進[10-01]																																
<b>目的</b>	地域の各種団体で組織した実行委員会に対して、地域振興事業に要する経費を補助することによって、実行委員会の自主的かつ安定的な運営を図り、もって区民相互の交流を深め、自立と連帯に支えられた住みよい地域社会の形成に寄与することを目的とする。																																	
<b>対象者等</b>	子どもを中心とした地域住民																																	
<b>内容</b>	<平成19年度実績>																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>地 域</th> <th>実 施 日</th> <th>参加者</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南千住なかよしまつり</td> <td>南千住</td> <td>10月21日(日)</td> <td>4,000人</td> <td>南千住野球場</td> </tr> <tr> <td>ドンとやろう大会</td> <td>荒川</td> <td>11月 4日(日)</td> <td>1,121人</td> <td>第四中学校</td> </tr> <tr> <td>町屋こどもまつり</td> <td>町屋</td> <td>10月28日(日)</td> <td>3,100人</td> <td>第七峡田小学校</td> </tr> <tr> <td>尾久っ子ワクワクまつり</td> <td>尾久</td> <td>11月 4日(日)</td> <td>8,500人</td> <td>区民運動場</td> </tr> <tr> <td>にっぽり青空こどもまつり</td> <td>日暮里</td> <td>11月 3日(土・祝)</td> <td>8,000人</td> <td>日暮里南公園</td> </tr> </tbody> </table>					名 称	地 域	実 施 日	参加者	場 所	南千住なかよしまつり	南千住	10月21日(日)	4,000人	南千住野球場	ドンとやろう大会	荒川	11月 4日(日)	1,121人	第四中学校	町屋こどもまつり	町屋	10月28日(日)	3,100人	第七峡田小学校	尾久っ子ワクワクまつり	尾久	11月 4日(日)	8,500人	区民運動場	にっぽり青空こどもまつり	日暮里	11月 3日(土・祝)	8,000人
名 称	地 域	実 施 日	参加者	場 所																														
南千住なかよしまつり	南千住	10月21日(日)	4,000人	南千住野球場																														
ドンとやろう大会	荒川	11月 4日(日)	1,121人	第四中学校																														
町屋こどもまつり	町屋	10月28日(日)	3,100人	第七峡田小学校																														
尾久っ子ワクワクまつり	尾久	11月 4日(日)	8,500人	区民運動場																														
にっぽり青空こどもまつり	日暮里	11月 3日(土・祝)	8,000人	日暮里南公園																														
<b>内容</b>	<平成20年度予定>																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>地 域</th> <th>実 施 日</th> <th>参加者</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南千住なかよしまつり</td> <td>南千住</td> <td>10月19日(日)</td> <td>-</td> <td>南千住野球場</td> </tr> <tr> <td>ドンとやろう大会</td> <td>荒川</td> <td>11月16日(日)</td> <td>-</td> <td>第二峡田小学校</td> </tr> <tr> <td>町屋こどもまつり</td> <td>町屋</td> <td>10月26日(日)</td> <td>-</td> <td>第五峡田小学校</td> </tr> <tr> <td>尾久っ子ワクワクまつり</td> <td>尾久</td> <td>11月 2日(日)</td> <td>-</td> <td>区民運動場</td> </tr> <tr> <td>にっぽり青空こどもまつり</td> <td>日暮里</td> <td>11月 3日(日・祝)</td> <td>-</td> <td>日暮里南公園</td> </tr> </tbody> </table>					名 称	地 域	実 施 日	参加者	場 所	南千住なかよしまつり	南千住	10月19日(日)	-	南千住野球場	ドンとやろう大会	荒川	11月16日(日)	-	第二峡田小学校	町屋こどもまつり	町屋	10月26日(日)	-	第五峡田小学校	尾久っ子ワクワクまつり	尾久	11月 2日(日)	-	区民運動場	にっぽり青空こどもまつり	日暮里	11月 3日(日・祝)	-
名 称	地 域	実 施 日	参加者	場 所																														
南千住なかよしまつり	南千住	10月19日(日)	-	南千住野球場																														
ドンとやろう大会	荒川	11月16日(日)	-	第二峡田小学校																														
町屋こどもまつり	町屋	10月26日(日)	-	第五峡田小学校																														
尾久っ子ワクワクまつり	尾久	11月 2日(日)	-	区民運動場																														
にっぽり青空こどもまつり	日暮里	11月 3日(日・祝)	-	日暮里南公園																														
<b>経過</b>	地域の各種団体で組織した実行委員会が運営。現在は地域のイベントとして定着している。																																	
<b>必要性</b>	地域コミュニティを活性化する上で、多方面の人々が協力して作り上げる催しは、参加者に連帯感を生み出し、協力の輪を広げていくきっかけとなる。 地域が一体となって、子どもを中心としたイベントを行い、いつも子どもに目を向ける健全な地域をつくる意義は大きい。																																	
<b>実施方法</b>	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )																																	

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	
決算額(20年度は見込み)	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	
人件費				8,274	8,198	5,551		
【事務分担量】(%)				96	96	65		
合計(+)	1,140	1,140	1,140	9,414	9,338	6,691	1,140	
国(特定財源)					904	1,031	904	
都(特定財源)	570	510	510	570				
その他(特定財源)								
一般財源	570	630	630	8,844	8,434	5,660	236	
<b>実績の推移</b>	<b>事項名</b>	<b>14年度</b>	<b>15年度</b>	<b>16年度</b>	<b>17年度</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>
	参加人数(5地域合計)	24,250	24,450	23,900	24,395	24,219	24,721	25,000
								(見込)

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金	南千住地域補助金	228	南千住地域補助金	228	南千住地域補助金	228
	負担金	荒川地域補助金	228	荒川地域補助金	228	荒川地域補助金	228
	負担金	町屋地域補助金	228	町屋地域補助金	228	町屋地域補助金	228
	負担金	尾久地域補助金	228	尾久地域補助金	228	尾久地域補助金	228
	負担金	日暮里地域補助金	228	日暮里地域補助金	228	日暮里地域補助金	228

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
	参加者数	24,395	24,219	24,721	25,000	25,000	

（問題点・課題）	幅広い地域団体の自主的な参加を促しながら、地域に根付いた魅力ある事業として、内容を一層充実・発展していく必要がある。
他区の実況	（実施 11 区                      未実施 11 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
地域団体の参加を積極的に促進する	良好なコミュニティ形成が期待できる

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区民相互の交流と地域コミュニティの活性化を図るため、優先度は極めて高い。

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	町会・自治会活動支援助成費	部課名 担当者名	区民生活部 地域振興課 中田 孝	課長名 内線	大関 英広 2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	町会・自治会活動支援助成費(07-35-51-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	20 年度	根拠	荒川区町会・自治会地域活性化事業に関する	
終期設定	有 無	年度	法令等	活動助成要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	町会・自治会が実施する地域の活性化を図る事業の経費を助成することにより、地域の活性化、町会への加入促進を図る。また、町会・自治会が所有する掲示板の修繕費を助成する。				
対象者等	町会・自治会				
内容	<p>《町会・自治会イベント助成》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>助成額 1団体当たり、事業に要する経費の2分の1(年度内限度額10万円) 10万円の限度額内であれば、2事業までを対象とする</li> <li>助成対象事業 町会・自治会が主催する事業 広く地域住民が参加できる事業 地域の活性化、町会への加入促進が期待できる事業</li> </ol> <p>《町会・自治会掲示板修繕助成》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>助成額 1基につき50,000円を上限とする</li> <li>助成対象掲示板 団体の所有する掲示板の半数まで(平成22年度で助成終了予定)</li> </ol>				
経過	平成20年4月 荒川区町会・自治会地域活性化事業に関する活動助成要綱制定				
必要性	地域コミュニティの担い手として、町会・自治会の振興を図る必要がある。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額							10,000	
決算額(20年度は見込み)							10,000	
人件費								
【事務分担量】(%)								
合計(+)	0	0	0	0	0	0	10,000	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	0	0	0	0	0	0	10,000	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	イベント助成団体数							50
	イベント助成額(千円)							5,000
	掲示板修繕助成件数							100
	掲示板修繕助成額(千円)							5,000
								(見込)

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金					イベント助成額	5,000
	負担金					掲示板修繕助成額	5,000

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
標	イベント助成団体数				50	119	
	イベント助成額(千円)				5,000	11,900	
	掲示板修繕助成件数				100	100	
	掲示板修繕助成額(千円)				5,000	5,000	

（問題点・課題分析）	町会・自治会が主催する事業に交付される補助金を活用して、今まで以上に地域を活性化できるか。
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
	推進	コミュニティの担い手である町会・自治会の振興を目的としており、優先度は高い。

況議（要旨）	
--------	--



# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	管理運営費(4号事業館)	部課名	区民生活部 地域振興課	課長名	大関 英広	
		担当者名	中田 孝	内線	2531	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(20年度)	管理運営費(4号事業館)(09-28-89-01)					
事務事業の種類	新規事業 ( 20年度 19年度 )		建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	元年度	根拠	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則		
終期設定	有 無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]				
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]				
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]				
目的	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供を行っている日暮里ひろば館・東日暮里三丁目ひろば館を維持管理するため、館の清掃委託・各種保守委託等を行う。					
対象者等	ひろば館貸室利用者					
内容	<p>対象施設 日暮里ひろば館 延床面積 755m<sup>2</sup>                      東日暮里三丁目ひろば館 延床面積 913m<sup>2</sup></p> <p>事業内容 非常勤職員(ひろば館嘱託員)報酬・社会保険料の支出 一般賃金(夜間窓口補助及び昼間窓口事務補助に従事する臨時職員)の支出 光熱水費の支出 管理用消耗品購入及び物品修繕に要する費用の支出 通信運搬費(電話料、NHK受信料、CATV視聴料)支払 手数料(ゴミ処理券、ピアノ調律、カーテン等洗濯、受水槽等清掃、水質検査、樹木剪定)支払 各種委託(ひろば館管理運営委託・清掃委託・消防設備等保守委託) コピー機賃借料の支出</p>					
経過	<p>昭和39年1月13日 日暮里青年館設置(その後、日暮里社会教育館 日暮里ひろば館と名称変更)</p> <p>昭和47年4月28日 尾久青年館設置(その後、尾久社会教育館 尾久ひろば館と名称変更)</p> <p>平成元年4月 1日 「ひろば館」構想実施</p> <p>平成19年4月 1日 尾久ひろば館が子育て支援部に移管される</p>					
必要性	貸室専門のひろば館であり、日中の利用もできるため、自主グループの中で認知度は高く、利用率も高い。					
実施方法	( 2一部委託 )                      ( 直営の場合      常勤      非常勤      臨時職員 )					
		名                      称	委 託 先	委託開始年月	19年度委託料	20年度委託料
		東日暮里三丁目ひろば館	社会福祉法人 東京都福祉事業協会	平成18年4月	9,256,254円	10,081,325円

予算・決算額等の推移	( 単位：千円 )							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	30,341	29,995	28,795	27,719	28,437	25,011	24,058	
決算額(20年度は見込み)	28,342	27,723	27,270	26,892	26,623	24,268	23,337	
人件費				6,399	6,810	3,719		
【事務分担量】(%)				190	195	115		
合計(+)	28,342	27,723	27,270	33,291	33,433	27,987	23,337	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)					2,567	3,244	3,244	
一般財源	28,342	27,723	27,270	33,291	30,866	24,743	20,093	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報酬	ひろば館嘱託員報酬	12,390	ひろば館嘱託員報酬	6,530	ひろば館嘱託員報酬
共済費	社会保険料	1,437	社会保険料	767	社会保険料	792	
一般賃金	窓口事務補助	4,274	窓口事務補助	2,494	窓口事務補助	2,523	
光熱水費	電気・ガス・水道料金	4,081	電気・ガス・水道料金	1,878	電気・ガス・水道料金	1,991	
一般需用	消耗品、物品修繕	235	消耗品、物品修繕	987	消耗品、物品修繕	177	
役務費	電話料金等	561	電話料金等	291	電話料金等	381	
委託料	清掃、保守委託等	3,541	清掃、保守委託等	10,767	清掃、保守委託等	11,551	
使用料	コピー機使用料	104	コピー機使用料	100	コピー機使用料	113	
備品購入			テーブル	454			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度 (見込)	目標値 (22年度)	
標	日暮里ひろば館貸室利用率	55.3%	55.0%	55.1%	56.0%	60.0%	
	東日暮里三丁目ひろば館貸室利用率	46.9%	44.3%	44.2%	45.0%	50.0%	19年度は101洋室を利用率から除外(年度途中から利用開始のため)

(問題点・課題)	施設や設備の老朽化により、付帯設備の不備など利用者の期待に応じられないことがある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容
	付帯設備の充実に努め、利便性の向上を図る。
	改善により期待する効果
	利用率の増加につながる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	ひろば館の管理運営のため、維持管理が必要である。

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	営繕費(4号事業館)	部課名	区民生活部 地域振興課	課長名	大関 英広
		担当者名	中田 孝	内線	2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(20年度)	営繕費(4号事業館)(09-44-39-01) 営繕費(4号事業館・計画工事)(09-44-42-01)				
事務事業の種類	新規事業 ( 20年度 19年度 )		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	39 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	区民がより効率的で快適に4号事業(貸室事業)ひろば館を利用できるよう、施設の修繕・改修工事を行う。				
対象者等					
内容	<対象施設> 日暮里ひろば館                      延床面積              755㎡ 東日暮里三丁目ひろば館          延床面積              913㎡				
経過					
必要性	4号事業(貸室事業)を実施していく上で、ふれあい館へ移行するまで当面の間は施設の維持のための補修等は必要。				
実施方法	( 二部委託 )                      ( 直営の場合      常勤      非常勤      臨時職員 ) 東日暮里三丁目ひろば館の家屋修繕は同館の指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会に平成20年度から委託している。修繕費用は管理運営費(4号事業館)に計上されている(残金は区に返還する)。なお、大規模工事は区が直接執行する。				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	13,595	7,218	1,838	1,595	1,406	2,959	1,963	
決算額(20年度は見込み)	12,194	7,135	1,449	1,202	1,190	2,606	1,865	
人件費				862	2,989	1,708		
【事務分担量】(%)				10	35	20		
合計(+)	12,194	7,135	1,449	2,064	4,179	4,314	1,865	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)					26			
一般財源	12,194	7,135	1,449	2,064	4,153	4,314	1,865	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	家屋修繕経費(千円)							(見込)
	日暮里ひろば館			592	602	389	511	667
	東日暮里三丁目ひろば館						95	0

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用	日暮里ひろば館修繕	389	日暮里ひろば館修繕	511	日暮里ひろば館修繕	703
	一般需用	尾久ひろば館修繕	589	東日暮里三丁目ひろば館修繕	95		
	工事請負			日暮里ひろば館非常階段改修	656	工事請負費	1,260
	工事請負			日暮里ひろば館2・3階女子便所改修	1,344		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
	家屋修繕経費(千円) (日暮里ひろば館)	602	389	511	667	-	

（問題点・課題分析）	施設・設備の老朽化により、今後修繕費用の増加が見込まれる。
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	小破修理・計画工事等を適正に行い、施設の維持管理に努める。	営繕経費の縮減に努めながらも、住民サービス低下のない、施設の良い維持管理が行える。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	ひろば館の管理運営のため、修繕が必要である。

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

<b>事務事業名</b>	緊急修繕対策費	<b>部課名</b>	区民生活部 地域振興課	<b>課長名</b>	大関 英広
		<b>担当者名</b>	中田 孝	<b>内線</b>	2531
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）</b>	緊急修繕対策費(09-44-90-01)				
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（ 20年度 19年度 ）		建設事業	それ以外の継続事業	
<b>開始年度</b>	昭和 平成	元年度	<b>根拠法令等</b>		
<b>終期設定</b>	有 無	年度			
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	文化創造都市[ ]			
	<b>政策</b>	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	<b>施策</b>	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
<b>目的</b>	ひろば館等を緊急に修繕する必要が生じた際、家屋等修繕費では金額的に対応できない場合等に実施する。				
<b>対象者等</b>					
<b>内容</b>	区民事務所ひろば館、3号事業(高齢者の心身の健康増進を図る事業)ひろば館、4号事業(貸室事業)ひろば館、ふれあい館を緊急に修繕する。				
<b>経過</b>	平成16年度 区民課から予算の一部を移管				
<b>必要性</b>	施設の老朽化が進む中で、小破修繕では対応できない緊急な改修工事等が必要となっている。				
<b>実施方法</b>	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ) 執行に当たっては、財政課に協議する。				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
		予算額	13,595	7,218	4,654	29,304	6,065	6,065
	決算額（20年度は見込み）	12,194	7,135	3,877	28,999	6,065	5,333	3,860
	人件費				2,586	3,843	854	
	【事務分担当】（%）				30	45	10	
	合計（+）	12,194	7,135	3,877	31,585	9,908	6,187	3,860
	国（特定財源）							
	都（特定財源）					1,558		
	その他（特定財源）							
	一般財源	12,194	7,135	3,877	31,585	8,350	6,187	3,860
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）		
	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	
予算・決算の内訳	工事請負	五峡小学童クラブ 通路照明設置	1,245	地藏堀ひろば館 給水管改修	945	緊急修繕費	4,065
	工事請負	花の木ひろば親子ふれあいひろば床改修	1,238	町屋二丁目ひろば館 水道管直結	76		
	工事請負	五峡小学童クラブ開設に伴う保健室改修	1,072	東日暮里三丁目ひろば館101洋室床改修	552		
	工事請負	尾久ひろば館 4階和室空調機改修	872	東日暮里三丁目ひろば館階段入口扉設置	89		
	工事請負	南千住西部区民事務所空調機改修	767	汐入ふれあい館 防火戸改修	305		
	工事請負	南千住ひろば館 窓ガラス交換	420	汐入ふれあい館 自動扉センサー取付	133		
	工事請負	花の木ひろば館 遊具室床改修	250	西尾久ふれあい館 自動扉センサー取付	147		
	工事請負	尾久ひろば館 501洋室空調機改修	113	西尾久ふれあい館 門扉取付	38		
	工事請負	日暮里区民事務所 空調機改修	89	東日暮里ふれあい館 和室建具等改修	130		
	工事請負			東日暮里ふれあい館 多目的室床改修	2,919		

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	緊急修繕件数	12	9	10	-	-	

（問題点・課題分析）	施設・設備の老朽化が進むなか、緊急対応しなければならない工事が出てくる。
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
計画工事で改善したり、日頃の施設の保守点検を充実し、緊急工事が少なくなるように努める。	サービスの低下を防止できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	ひろば館の管理運営のため、修繕が必要である。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

<b>事務事業名</b>	管理運営費(ふれあい館)	<b>部課名</b>	区民生活部 地域振興課	<b>課長名</b>	大関 英広
		<b>担当者名</b>	中田 孝	<b>内線</b>	2531
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）</b>	管理運営費(ふれあい館)(09-28-96-01)				
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
<b>開始年度</b>	昭和 平成	16 年度	<b>根拠</b>	荒川区ふれあい館条例・同施行規則	
<b>終期設定</b>	有 無	年度	<b>法令等</b>	荒川区ふれあい館管理運営要綱	
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	文化創造都市[ ]			
	<b>政策</b>	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	<b>施策</b>	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
<b>目的</b>	児童育成事業と高齢者レクリエーション事業など様々な事業を一体的に展開し、乳幼児から高齢者までのあらゆる世代が交流でき、また、区民の自主的な活動や地域のコミュニティの拠点となる「ふれあい館」を整備する。ふれあい館の事業だけでなく、施設の管理を含めて指定管理者制度を導入し運営する。				
<b>対象者等</b>	乳幼児から高齢者まで				
<b>内容</b>	施設の維持管理(光熱水費の支払、清掃・消防設備等の各種保守委託の契約締結及び支払) 児童育成事業の実施 高齢者レクリエーション事業の実施 中高生・成人向け、世代間交流事業等ふれあい館事業の実施				
<b>経過</b>	平成13年12月 新たな区民ひろばの構築にむけて<中間報告書>(区民利用施設等のあり方検討委員会) 平成14年 1月 区報に「ひろば館適正配置の検討(中間のまとめ)」掲載 平成14年 3月 新たな「区民ひろば」の構築にむけて<最終報告書>(区民利用施設等のあり方検討委員会) 平成14年 5月 区報に「ひろば館適正配置の検討(最終報告書)」掲載 平成14年 9月 新たな区民ひろば館の事業運営及び施設設備のあり方について(地域振興部) 平成14年10月 総務区民委員会報告(新たな区民ひろばの事業運営及び施設設備のあり方について) 平成15年11月 指定管理者制度による管理運営導入決定				
<b>必要性</b>	ひろば館は、子どもたちのスポーツ・遊びの場又は高齢者の教養の向上・レクリエーションの場として、それぞれ児童事業又は高齢者事業を個々に実施している。しかし、ライフスタイルや社会的背景の変化などにより、様々な世代の区民が交流できる「ふれあい館」への整備が急務である。				
<b>実施方法</b>	( 3全部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )				
	(単位:円)				
	<b>名称</b>	<b>委託先</b>	<b>委託開始年月</b>	<b>19年度委託料</b>	<b>20年度委託料</b>
	汐入ふれあい館	社会福祉法人 雲柱社	平成17年 4月	39,974,320	41,004,418
	荒川山吹ふれあい館	荒川区高年者クラブ連合会	平成18年 2月	44,068,450	43,954,798
	荒木田ふれあい館	㈱大起エンゼルヘルプ	平成16年10月	43,742,278	44,134,178
	西尾久ふれあい館	㈱日本ダイケアセンター	平成16年10月	44,263,950	44,444,850
東日暮里ふれあい館	学校法人 道灌山学園	平成17年 4月	43,587,018	44,588,590	
西日暮里ふれあい館	学校法人 道灌山学園	平成20年 4月	-	44,854,374	
<b>計</b>			215,636,016	262,981,208	

<b>予算・決算額等の推移</b>	(単位:千円)							
		<b>14年度</b>	<b>15年度</b>	<b>16年度</b>	<b>17年度</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>
	<b>予算額</b>			41,311	179,066	218,054	227,855	269,044
	<b>決算額(20年度は見込み)</b>			37,562	172,814	214,378	225,811	266,350
	<b>人件費</b>				3,448	3,843	2,135	
	<b>【事務分担当】(%)</b>				40	45	25	
	<b>合計(+)</b>	0	0	37,562	176,262	218,221	227,946	266,350
	<b>国(特定財源)</b>							
	<b>都(特定財源)</b>			1,800	1,800	2,490		
	<b>その他(特定財源)</b>				2,938	4,359	4,723	5,374
<b>一般財源</b>	0	0	35,762	171,524	211,372	223,223	260,976	
<b>実績の推移</b>	<b>事項名</b>	<b>14年度</b>	<b>15年度</b>	<b>16年度</b>	<b>17年度</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>
	ふれあい館の開設			2館	3館			1館
				荒木田	東日暮里			西日暮里
				西尾久	汐入			
				荒川山吹				

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費			審査委員謝礼等	140	審査委員謝礼等	121
	光熱水費	汐入ふれあい館分	3,028	汐入ふれあい館分	3,270	汐入ふれあい館分	3,321
	食糧費					審査委員会飲物等	12
	一般需用					ふれあい館開館消耗品	4
	役務費	受水層清掃	23	樹木選定等	189	樹木選定等	172
	委託料	指定管理者委託料等	210,046	指定管理者委託料等	217,522	指定管理者委託料等	263,796
	使用料	土地賃借料	1,281	土地賃借料	1,262	土地賃借料	1,263
	備品購入			ワイヤレスアンプ等	3,427	事業用備品	355

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度 (見込)	目標値 (22年度)	
	ふれあい館の数	5	5	5	6	8	
	全ふれあい館利用者数	215,542	255,516	284,564	350,000	470,000	児童育成事業・高齢者レクリエーション事業利用者

(問題点・課題)	ひろば館からふれあい館への移行計画において、用地の取得等整備に時間を要している。
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容
	改善により期待する効果
	開設に向けて用地の確保等に努める。
	ふれあい館の整備が進み、住民サービスが向上する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	地域活動拠点の効果的運営を進めるために重要である。

(要旨)	17年二定 指定管理者の保守や清掃などの再委託について 17年四定 講演会や音楽会ができるような多目的室や個展・美術展ができるサロンスペースを設置するなど、南千住西口のふれあい館の集客力を高める工夫について 19年一定 ふれあい館建設計画の遅延について (仮称)荒川三丁目ふれあい館における青少年の居場所づくりについて
------	--



# 事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	営繕費(ふれあい館)	部課名	区民生活部 地域振興課	課長名	大関 英広
		担当者名	中田 孝	内線	2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(20年度)	営繕費(ふれあい館)(09-44-86-01) 営繕費(ふれあい館・計画工事)(09-44-89-01)				
事務事業の種類	新規事業 (20年度 19年度)		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	17 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]			
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]			
	施策	コミュニティ活性化の推進[10-01]			
目的	区民がより効果的で快適にふれあい館を利用できるよう、施設の修繕・改修工事を行う。				
対象者等					
内容	<対象施設>				
	名 称	開館年月	延床面積	備 考	
	汐入ふれあい館	平成17年 4月	1,237.38m <sup>2</sup>	平成13年度完成(17年度名称変更)、鉄骨3階建	
	荒川山吹ふれあい館	平成18年 2月	1,230.26m <sup>2</sup>	鉄骨3階建	
	荒木田ふれあい館	平成16年10月	1,215.43m <sup>2</sup>	鉄骨3階建	
	西尾久ふれあい館	平成16年10月	1,189.16m <sup>2</sup>	鉄骨3階建	
	東日暮里ふれあい館	平成17年 4月	1,176.87m <sup>2</sup>	鉄筋鉄骨14階建(1・2階部分)	
西日暮里ふれあい館	平成20年 4月	1,281.33m <sup>2</sup>	鉄骨3階建		
経過					
必要性	ふれあい館事業を実施していく上で、施設の維持のための補修等は必要である。				
実施方法	( 二部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )				
	家屋修繕は下記に委託(残金は区に返還する)。なお、大規模工事は区が直接執行する。				
	名 称	委 託 先	委託開始年月	委託料	
	汐入ふれあい館	社会福祉法人 雲柱社	平成20年 4月	管理運営費 (ふれあい館) に計上	
	荒川山吹ふれあい館	荒川区高年者クラブ連合会	平成20年 4月		
	荒木田ふれあい館	(株)大起エンゼルヘルプ	平成20年 4月		
	西尾久ふれあい館	(株)日本デイケアセンター	平成20年 4月		
東日暮里ふれあい館	学校法人 道灌山学園	平成20年 4月			
西日暮里ふれあい館	学校法人 道灌山学園	平成20年 4月			

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	予算額				335	341	12,386	1,386
	決算額(20年度は見込み)				258	307	12,153	1,221
	人件費				776	1,623	2,135	
	【事務分担量】(%)				9	19	25	
	合計(+)	0	0	0	1,034	1,930	14,288	1,221
	国(特定財源)							
	都(特定財源)					43		
	その他(特定財源)							
一般財源	0	0	0	1,034	1,887	14,288	1,221	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	家屋修繕経費(千円)				259	307	626	0
								(見込)

# 事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用	家屋等修繕	307	家屋等修繕	626		
	工事請負			荒木田ふれあい館多目的室壁・天井改修	8,839	荒川山吹ふれあい館多目的室壁改修	1,386
				東日暮里ふれあい館屋上改修	2,688		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度（見込）	目標値（22年度）	
	工事件数	-	-	2	1		

（問題点・課題）	建設当初の施設利用想定と開館後の利用実態にギャップがあり、多目的室破損箇所の改修の必要性、会議室の防音対応、駐輪場の不具合等の問題がある。
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
小破修理・計画工事等を適正に行い、施設の維持管理に努める。	営繕経費の縮減に努めながらも、住民サービス低下のない、施設の良い維持管理が行える。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	ふれあい館の管理運営のため、修繕が必要である。

況（要旨）	議（質問状）
-------	--------